

河畔林造成に適する広葉樹

洪水の影響を受けやすい自然の河畔では、洪水の頻度や、土壌の排水性が異なる場所に依じて、冠水耐性の異なる樹種が育成しています。多様な樹種から成る河畔林を造成するためには、これらの生育特性を生かした樹種導入が望まれます。頻繁に水につかる水辺ではヤナギ類などを、時々水をかぶるけれども排水の良い場所にはハルニシをというように、立地環境にあった樹種を利用することが理想的です。河畔に適する代表的な広葉樹として、以下のようなものがあげられます。

1、水際（融雪増水、夏の洪水等で毎年冠水する場所）、排水の悪い場所 葉の細長いヤナギ類、ケヤマハンノキ、ヤチダモ



ヤナギ類



ケヤマハンノキ

2、年に1～2回程度しか冠水しない場所、排水の比較的良好な場所

ドロノキ、オオバヤナギ、
ハルニシ、オニグルミ、
カツラ、
サワグルミ、トチノキ
(以上2種は道南のみ)



カツラ

3、ほとんど冠水しない場所

オヒョウ、イタヤカエデ、
シウリザクラ、キハダ、
キタコブシ、ミズナラなど
林内低木として

ハシドイ、ノリウツギ、
ツリバナ、ヤマグワなど